



豊岡小学校だより

ゆうあし

— させられる自分から する自分へ —



児童数 400人

2学期がスタートしました!



44日間の長い夏休みが終わりました。今年の夏休みは40℃近い酷暑で、屋外でのスポーツは原則禁止という日の連続でした。予定していたPTAのプール開放も、夏休み前半の陸上教室も急遽中止せざるを得なくなり、いつもと違う夏休みになってしまいました。それでも、休み中には豊岡高校の生徒による「科学実験教室」や「算数教室」を開催してもらったり、全校登校日には各学年で平和学習を行ったりしました。

休み中保護者の皆様をはじめ、地域の方々、PTAの役員さん、スポーツ少年団の指導者の方々など、たくさんの人にお世話になりながら、学校生活だけでは経験できない体験を積んだことと思います。お世話になった皆様には、感謝申し上げます。



8月のトピックス

～ 柳まつり ～

恒例の“豊岡おどり”、子どもたちの元気な姿が大開通りに躍動しました。少ない人数の子ども会もチームワークを、人数の多い子ども会も力強さを発揮してくれました。豊小PTA連も“絆”を発揮して踊りぬきました。



～ 資源ゴミ回収・奉仕作業 ～

休日にも関わらずPTAの皆様そして6年生の皆さんには大変お世話になりました。酷暑の日でしたが、子どもたちだけではできない箇所をきれいにいただき、今日から始まる2学期が、気持ちよくスタートできました。ありがとうございました。



児童の睡眠時間の不足の実態

- ◇小学校期の児童に必要な睡眠時間（床に就く時間ではなく、眠っている時間）は、**9～11時間**が理想とされています。
- ◇睡眠不足の蓄積は、**成長障害(身体、脳)・学習意欲の低下・学習内容の未定着・不登校**などの大きな原因となります。
- ◇1学期に、関西国際大学教授 中尾繁樹先生（特別支援教育）に本校の児童のスクリーニング（観察、内面評価）をしていただいたところ、『**半数近くの児童が覚醒していない**』という指摘を受けました。これは、**席には座っているが、脳が働いていない状態**です。

睡眠表による取組

- ◇豊岡南北中校区11校で、小中一貫教育の取組として睡眠表を活用した『睡眠時間確保』の取組を実施しています。これには、本校PTAの保健委員会も連携して取り組んでいます。
- ◇夏休み中には豊岡南北中校区の教職員が、里豊夢わかさ理事長 前田勉先生を招いて、睡眠の必要性についての学習をしました。前田先生は、本年度の豊小PTA教育講演会にもお招きする予定です。
- ◇睡眠表を付けることにより、
 - ①**9～11時間の睡眠時間をとるよう**に改善する。
 - ②**休日も含め、寝る時刻と起きる時刻が、毎日同じになるよう**に改善する。
- ◇2学期にも睡眠表を付ける取組をします。ご家庭でも、上の2点の指導をお願いします。